

## 第45回「映画を語る会」開催報告

— “日本でも原爆開発が” 戦時中のエピソードを皆で考えました。 —

1. 日時及び場所 2025. 9. 12. (金) 13:30—16:00  
於・つくし野 C.C.ホール
2. 今月の映画 「太陽の子」 日本 2021年 (111分)
3. 参加人数 50名 (男性 17名 女性 33名)
4. アンケート結果—映画について 24名回答
  - ① 大変良かった 9名
  - ② 良かった 12名
  - ③ 普通 (まあまあ) 1名
  - ④ つまらなかった 2名
  - ⑤ 来なければよかった 0名
5. アンケート結果—ご意見・ご感想 (一部)
  - ・日本でも原子爆弾を開発している事を知らなかった。登場人物の役割がはっきり分らないが開発に取り組む姿を垣間見て当時を推測できた。恐ろしい兵器を人は作るものだなとつくづく悲しむ。
  - ・核兵器を廃絶を訴える日本が以前作っていた事実を知る機会になりました。ドイツの降伏により日本に原爆が落とされたのは原爆の実態を知る上ではどうだったのでしょか?とても深い意味があり難しい。
  - ・知らなかった歴史を知ることが出来良かったと思います。
  - ・科学者の世界を見れて良かった。日本もちょっとした違いで原爆の加害国になっていたことを知って複雑な気持ちです。会話内容が明確に聴き取れなかったのは私の耳のせい(?)
  - ・戦後80年原爆を受けたことの意味を改めて考えさせられました。今、核を保有している国が多いことは驚きます。核廃絶を願うのみ。
  - ・科学と人間の在り方を考えさせられた。「科学は人間を超える」のは確かである。しかしその科学を人間がどう対応していくかとてもとても大切!!
  - ・核廃絶は難しい問題なんですね。科学者はやりたいこと沢山あります。
  - ・戦争のウラのウラがわかった。若者(小学校高学年以上)に見せるべきです。
  - ・京大が原爆を研究していたというのは知らなかった。研究生は広島の悲惨さ見て研究を放棄するのでなく比叡山で爆発するのを見たいという心理が分からない。
  - ・ニギリメシを食べて後から話が分からない。それ以外はよくわかった。
6. 備考: ①ライン連絡網あり ②今回から、これまでの作品の貸し出しを始めました。
7. 次回予定: 10月17日(金)